

番 号	23請願第4号 (まちづくり環境付託)
受理年月日	平成23年6月8日
件 名	三鷹市内の保育園、幼稚園、学校の給食に使われる食材の情報表示及び安全な産地の食材の使用と園庭、校庭、砂場、公園等の放射線測定に関することについて
提 出 者	三鷹市在住 花島 裕子 ほか 4名
紹介議員	緒方 一郎、大城 美幸
要 旨	
<p>〔趣旨〕</p> <p>3月11日の東日本大震災によってもたらされた福島原発事故以前、日本には食品に対する放射性物質の基準値というものはなく、チェルノブイリ事故の後、放射線汚染輸入食品を規制するため、暫定値限度として370ベクレルが設定されました。それが、今回の福島原発事故の後、主な食品（野菜、穀類、肉、魚）の暫定基準値は500ベクレル（セシウム）に引き上げられています。</p> <p>放射線にはここまでなら安心という科学的データはありません。特に影響が大きい乳幼児や子ども、妊婦に一般の大人と同じ基準値を用いることは、避けられなければなりません。</p> <p>また、放射性物質を含む生ごみ等の焼却や、これから訪れる台風による第2次飛散も懸念されます。</p> <p>放射線による内部被曝のリスクを取り除き、「放射線ゼロ」を目指した対応を求めするため、三鷹市内の園、学校給食に使用される食材において、以下の事項について要望します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 給食に使われる食材の産地の掲示及び測定された放射線量の公表 2 これまでに農産物から放射性物質が検出されたり、出荷制限が出されたりしたことがない産地の食材を使用する。 3 三鷹市の農産物の放射線検査、結果公表 4 三鷹市内の園、小・中学校のグラウンド、砂場、公園等を含む土壌や植生調査、それに基づく地域の測定マップ製作、ホームページ公表 	